

テンプレートの使用法

MS-WORD【横書き】形式

テンプレートにはダミーでテキストを入れておりますので、必ず書き換えてご使用ください。

ダミー文章にスタイルを適用しています

テキストをコピーペーストした場合は、必要に応じてスタイルを適用してください。

章題:「SP見出し1」

SP本文_Opt

※○にはそれぞれのテンプレートの本文の文字の大きさが入ります

SP見出し2

SP本文_2字下げ

SP見出し3

SP本文_3字下げ

第1章 テンプレートの使い方

このテンプレートは、本文 10 ポイントで作成しております。このサンプルテキストを上書きして作成してください。なお、サンプルテキストを残してしましますそのまま印刷されてしまいますのでご注意ください。

各章タイトル、見出しレベルに応じてスタイルを作成しております。

1 見出しレベル2

この文章の本文は【SP 本文_2字下げ】を使用しています。タイトルは【SP 見出し2】を使用しています。文章を流した後にスタイルをあてていただければこの形になります。

(1) 見出しレベル3

この文章の本文は【SP 本文_3字下げ】を使用しています。タイトルは【SP 見出し3】を使用しています。文章を流した後にスタイルをあてていただければこの形になります。

2 見出しレベル3

この文章の本文は【SP 本文_3字下げ】を使用しています。タイトルは【SP 見出し3】を使用しています。文章を流した後にスタイルをあてていただければこの形になります。

1

上の a と同じですが、以下の箇条書きが加わっています。

○ 箇条書きの文章です。

○ 箇条書きの文章です。

2 見出しレベル2

この文章の本文は【SP 本文_2字下げ】を使用しています。タイトルは【SP 見出し2】を使用しています。文章を流した後にスタイルをあてていただければこの形になります。

2

SP本文 3 字下げ_箇条書き

【スタイル一覧】

スタイル

すべてクリア

SP見出し1

SP見出し2

SP見出し3

SP本文_10pt

SP本文_2字下げ

SP本文_3字下げ

SP本文_3字下げ 箇条書き

目次 1

目次 2

目次 3

ハイパーリンク

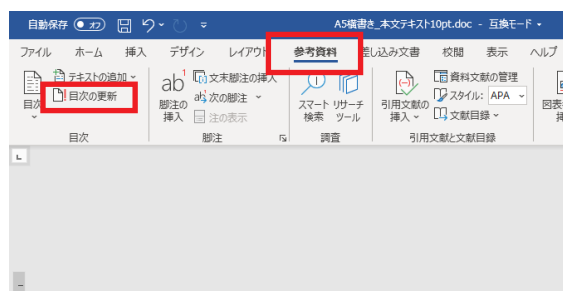
☐ プレビューを表示する

☐ リンクされたスタイルを使用不可にする

A A A オプション...

目次の作成について

目次の作成はすべての文章を作成した後に【参考資料】メニューから【目次の更新】をクリックしていただくと「SP見出し1～3」に設定している文字が目次に反映されます。



目次

第1章 テンプレートの使い方 1

1 見出しレベル2 1

(1) 見出しレベル3 1

(2) 見出しレベル3 1

2 見出しレベル2 2

第2章 文章の入力 3

目次の更新をクリックすると更新される

※「SP見出し1～3」のスタイルが設定されてない場合は、目次に入ってきませんのでご注意ください。

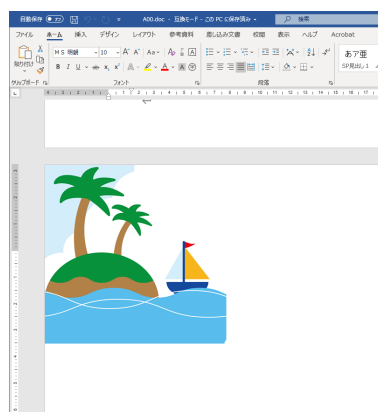
フチなし印刷の作成方法は次へ

フチなし印刷について

フチなし印刷をする場合はページの端ギリギリですと本を仕上げるときの断裁で多少のズレが生じるためページの端に紙の色(白)が出てしまいます。これを回避するために少し拡大して印刷させていただきます。

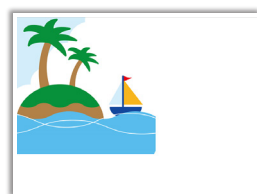
そのため切れては困る絵柄や文字等はページの端より3mm以上内側に配置してください。

■ページの端ギリギリに配置すると

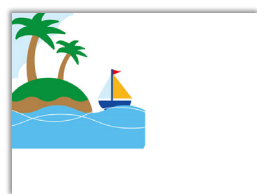


そのまま印刷すると

ページの端に紙の色ができる



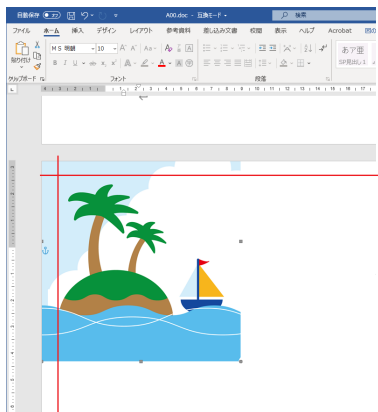
少し拡大して印刷すると



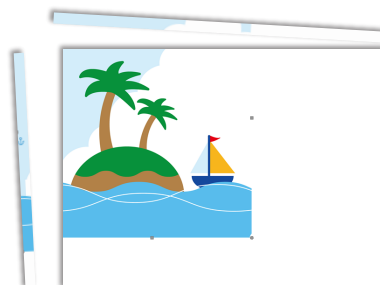
絵柄まで切れてしまう



■3mm 以上余裕をもって作成いただくと



少し拡大しても
キレイに仕上がります！



多少のズレが生じて
紙の色が出ることがありません！



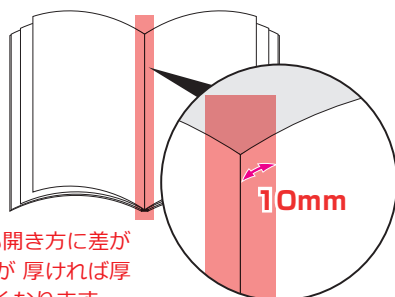
製本方法によっても注意が必要です

■無線綴じ製本の場合

無線綴じはページを完全に開くことができません。綴じ側(本の内側)に文字や絵柄が近いと隠れたり読みづらくなります。

綴じ側(本の内側)に10mm以上の余白を作っていただくと本が読みやすくなります。

※ページ数や紙の厚さ、サイズでも開き方に差が出ますのでご注意ください。冊子が厚ければ厚いほど、見えなくなる部分が大きくなります。



■中綴じ製本の場合

中綴じ冊子は綴じ部分まで開くことができますが、製本する際にどうしても多少のずれが起こります。綴じ側(本の内側)に文字や絵柄をまたいで作成いたしますと仕上がりが若干ズレてしまうことがありますのでご注意ください。

